

阿部博光フルート協奏曲の夕べ

今から33年ほど昔、私が日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者就任記念演奏会、サントリーホール、ローマ3部作の折最強の日フィル軍団を纏めて率いる管楽器軍団の侍大将がいた。フルートの腕は言うに及ばず、穏和で真摯に音楽に向き合っている若武者がいた。しかも人格者で楽団員皆から尊敬、瞠目されていた。

阿部博光

当時、飛ぶ鳥を落とす勢いで日本中の音楽ファンの人気を獲得、実力の裏付けある演奏を積み重ねていた、このオーケストラの若き大黒柱であった。

当時指揮者であった私をどれだけサポートしてくれた事か…感謝に堪えない。

その彼が故郷札幌で古希のリサイタルを開くと言う。

オーケストラは札幌交響楽団。

私に御指名をいただいた。

この上ない喜びである。

心を込めて、指揮させていただきます。

阿部先生

心おきなく吹いてくだされ！
どこまでも、ついて参りまする！

広上淳一



指揮：広上淳一（札幌交響楽団友情指揮者）

Junichi HIROKAMI , CONDUCTOR

東京生まれ。

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。

東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。

これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。

フランス国立管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。

2008年より京都市交響楽団常任指揮者、14年よりミュージック・アドバイザー、20年より芸術顧問を兼務、14年間にわたり京都市交響楽団と共に歴史を築いた。

現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。

また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



フルート：阿部博光(元日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者)

Hiromitsu ABE , FLUTE

1954年函館生まれ。1976年東京藝術大学入学。同年、第45回日本音楽コンクールフルート部門入選。

1978年在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団、首席フルート奏者を務める。1980年東京藝術大学卒業。

1982年文化庁芸術家在外研修員として、スイス・バーゼルに留学。

ペーター・ルーカス＝グラーフ、レイモン・メラーンの両氏に師事。

1995年17年間に在団した日本フィルを退団、北海道教育大学岩見沢校助教授に就任、2001年より教授。

1999年より「阿部博光室内楽シリーズ」2003年より「阿部博光リサイタルシリーズ」を札幌コンサートホールにて開催。

また2003年8月より奥井理ギャラリー(札幌)にて「OKUI MIGAKUギャラリーコンサート」を企画し若手芸術家の支援を目的としたコンサートを開催、既に130回を数えている。

これまでに札幌市民芸術祭大賞、札幌文化奨励賞、北海道文化団体協議会賞、札幌芸術賞を受賞。

故小松昭五、細川順三、三村園子、故小泉剛、故吉田雅夫の各氏に師事。現在、北海道教育大学名誉教授。

同大学岩見沢校、札幌大谷大学、各非常勤講師。HBCジュニアオーケストラ常任指揮者。

札幌フルート協会会長。日本フルート協会常任理事。

後進の指導にあたりながらリサイタル、室内楽を中心に幅広い活動を行っている。



管弦楽：札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌響」の愛称で親しまれている。

透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られる。

現在は名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎、を擁し、2025年4月からエリアス・グランディを首席指揮者に迎える。

年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。